



綺麗な嘘

スン ハイ マー ニン
ZUN HAY MAR HNIN

私は嘘が嫌いです。ですから嘘が上手じゃありません。だから日本に来る前にミャンマーで何度も聞いた『日本人は嘘が嫌い』なのに『日本人は嘘が上手』それってどういう意味なの？当時の私には分かりませんでした。

三年前の九月に初めて日本へ来て以来、毎年日本語検定試験を受け、N2まで合格しましたが、働く工場では話す言葉を間違える事がよくあります。あまり上手に喋れません。それなのに会社の人達はいつも「マさんは日本語が上手ね」と言ってくれ、試験の前も「大丈夫！マさんならできる」と励ましてくれます。できるのか、できないのか自分でもよく分かりません。でも、不安が少しずつ自信になり、信頼してくれた人達をがっかりさせたくない思いで頑張りました。試験はよくできました。その言葉達が力になったのです。

ある日、文化交流講座がある事を知りました。色々な国の外国人が、母国の事を紹介する講座です。「やってみる？」と聞かれた私はすぐに「頑張ってみたいです。」と答えました。ミャンマー人として、自分の国を広く知ってもらえる事を想像しただけで、ワクワク心が躍ります。紹介するのがとても楽しみになりました。ところが説明は日本語です。そのうえパソコンについても、初級しか学んでいない私は「プレゼンテーションって？何から始めようか」急に不安になりました。あれこれ考え心配している私に「大丈夫！マさんならできる」といつものように言います。今の私にはできる能力が

ないのに。「嘘」みたいです。でもせっかくのチャンスを手放したくありません。その頃の私はとても忙しく、あまり時間がありませんでした。事務所の人達が、ミャンマーの事を調べながら色々手伝ってくれましたが、私を信用してくれている日本人に迷惑をかけたくないと思い、自分で勉強しながら作りました。どうにか作り終わった時には、間違えていた所もありましたが「上手！」と言ってくれました。当日は、ミャンマーの紹介をし、皆で一緒に母国の料理を作り、踊り、たくさんの日本人と一緒に、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

「すごい！大成功！」

もし、何度も「大丈夫！できる」と言われなかったら、試験や勉強、ミャンマーの紹介など、できていたかどうか分かりません。日本人は相手の気持ちを大切にして、相手が傷つかないように「嘘」をつきました。それは嘘だとしても綺麗です。ミャンマーの仏教でも、「嘘をいわない」という教えがありますが、その人が困らないためにつく嘘は「嘘」とは言わない。それは日本でもミャンマーでも同じでしょう？この作文も会社の日本人が見たら、「マさん！優勝できるよ」と言われると思います。実際には優勝できなくても「綺麗な嘘」を、またもうひとつ貰えるので、それを心の中に大切にしまっただけで帰国します。日本に来て一番よかったこと、それは伊勢丸食品で働けた事です。それは「本当」です。